

町田市子ども発達センターに「知的認可通園部門の増設」と

「身体認可通園部門の新設」を求める請願

【請願趣旨】

現在の町田市子ども発達センターすみれ教室は、1971年すみれ会設立と時を同じくして、保護者の強い願いにより開設されました。翌年、保護者の手を離れ町田市の管轄となり、障がいをもつ未就学児の療育を長きにわたり担ってきました。

すみれ会員はじめ多くの子ども達が、すみれ教室の療育の恩恵を受けて育ちました。しかしながら、2004年に東京都の認可施設になると、定員が40人となり現在に至っています。認可以外の未就学児は、週1回通園の親子通園部門か相談予約しての不定期の相談部門となります。(認可以外は町田市の単独事業)

2009年時点で、親子通園部門と相談部門利用者は約520人でした。

早期療育が求められていますが、人口42万都市に40人定員の認可通園施設1か所では現状に即していません。

また、認可通園部門と親子通園部門の処遇格差は著しいものがあります。

認可通園部門には、送迎と給食があり、週5日の通園が保障されています。

しかし、親子通園部門は、すみれ教室まで自力で通います。細長い地形の町田市で、相原地区や南町田地区から所在地の中町まで、障がいを持つ子を連れて通うのは容易でなく、早急に認可通園部門を町田市の各所に増設する必要があると思われま

す。また、身体障がいをもつ未就学児の受け入れが無いため、その多くが市外の療育機関に通っており、母子の負担が大きくなっています。

子どもに障がいがあっても、安心して町田市で生活できることを願っています。

以上の趣旨にもとづいて、以下の項目について請願いたします。

【請願項目】

1. 町田市子ども発達センター(すみれ教室)の知的認可通園部門を増設して下さい。

2. 身体障がいを持つ未就学児のための身体認可通園部門を新設して下さい。